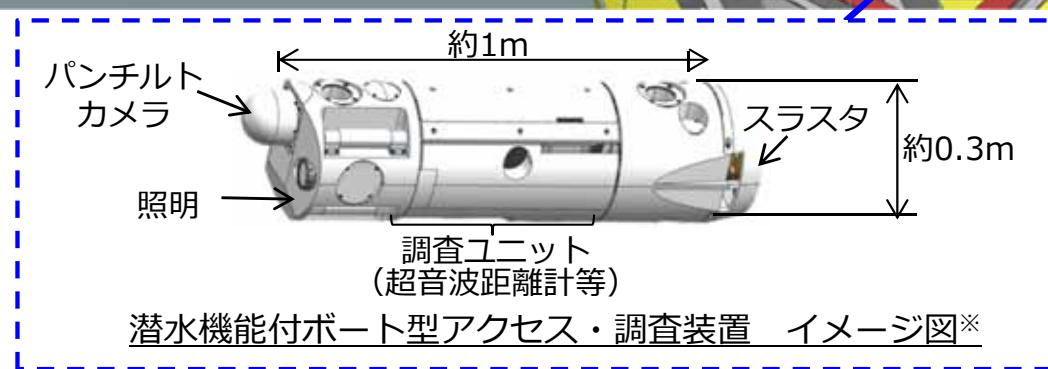
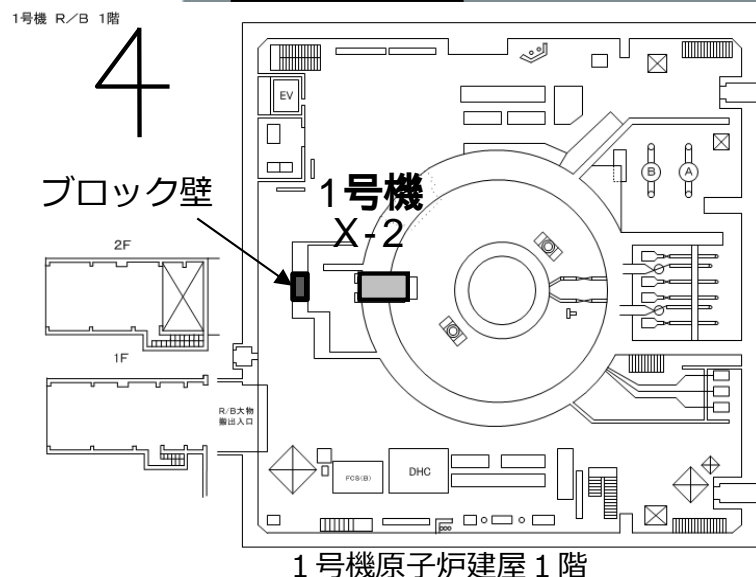
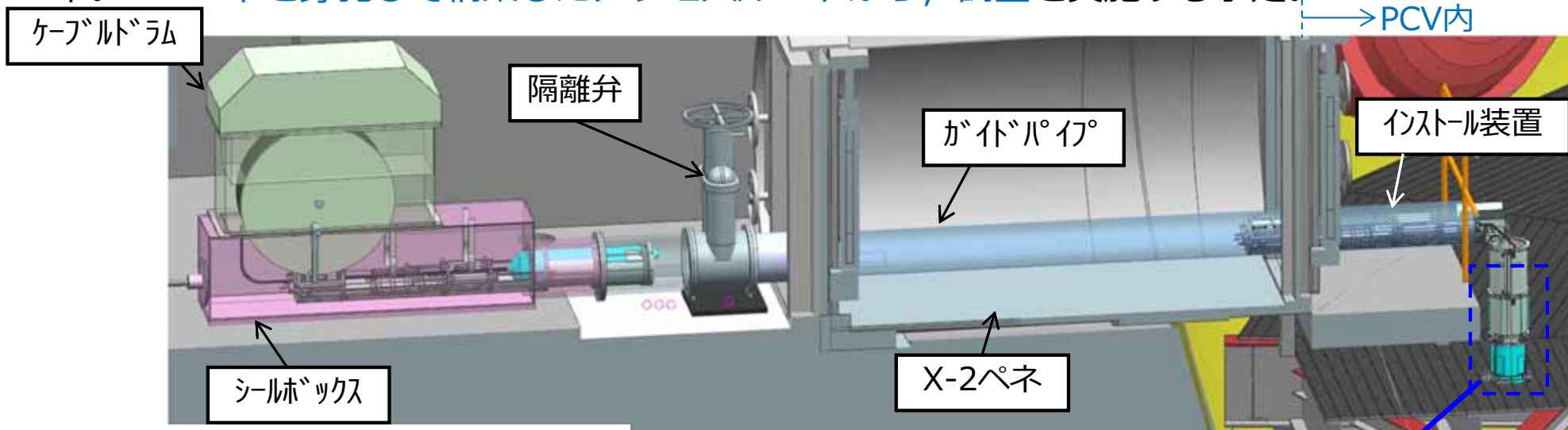


福島第一原子力発電所
1号機原子炉格納容器内部詳細調査について

2018年7月25日
東京電力ホールディングス株式会社

1号機PCV内部詳細調査の概要（1/2）

- 1号機PCV内部調査においては、主にペDESTAL外における構造物や堆積物の分布等を把握する
- 1号機のPCV内には水位が形成されていることから、アクセス・調査装置は潜水機能付ボートを開発中。X-2ペネを穿孔して構築したアクセスルートから、調査を実施する予定。

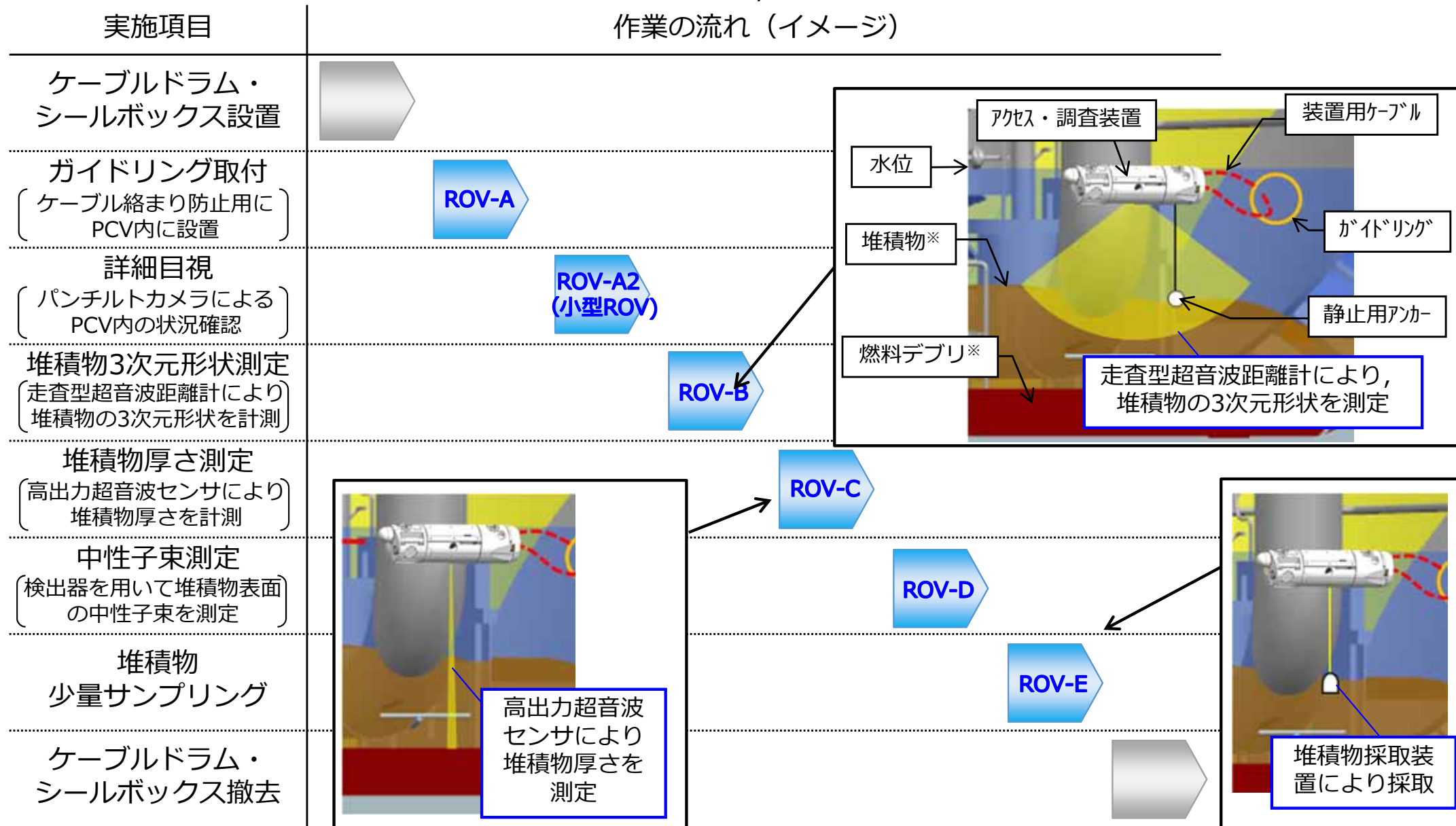


1号機X-2ペネからのPCV内部調査のイメージ図

※今後の設計進捗により変わる可能性あり

1号機PCV内部詳細調査の概要（2/2）

- 潜水機能付ボート型アクセス・調査装置については，機能ごとに6種類準備する予定。



※：堆積物の厚さや燃料デブリの有無及び厚さは未知だが，説明のためイメージとして記載

- 現場作業時には以下の被ばく低減対策を実施
 - 作業の習熟度の向上を図るため、事前に模擬訓練を実施
 - 日々の作業における時間管理の実施
 - 調査中は原則遠隔による操作
 - 仮設遮へいの活用

- 残留水素があった場合の爆発防止，原子炉格納容器内雰囲気の流れによる過剰被ばく防止および作業上の安全対策を行うため，ペネトレーションの孔あけ時は加工機に窒素を封入

- アクセス・調査装置の汚染拡大防止のため，回収時の水除染を実施

- 排気はフィルタにて粒子状の放射性物質の除去，モニタリングを実施

実施工程（案）

下記実施工程は検討中のものであり、変更の可能性あり

	2018年度	2019年度
1. 事前作業（干渉物撤去等）		
2. アクセスルート構築		
3. 内部調査		
4. 実施計画申請	▽申請（7/25）	